

# 「地球温暖化に対する鉄鋼業の世界的な取り組み」

## II SIステートメント公表

2007年10月9日

(社)日本鉄鋼連盟

国際鉄鋼協会（II SI）は世界の鉄鋼業（中国、EU27カ国、日本、米国、ロシア、インド、ブラジル、ウクライナ及び韓国等主要製鉄国を含む）の総意に基づき、2007年5月7日、「鉄鋼業の温室効果ガス削減のための政策提言」を公表しました。この提言に基づき、セクトラル・アプローチの採用に向けて検討を進めてきましたが、2007年10月7日の理事会において、グローバルなセクトラル・アプローチの採用を決定し、本日（9日）概要下記のとおり公表しました。

この考え方は、他業種とも共有可能であり、現行の京都議定書のような一部のCO<sub>2</sub>排出国のみが参加するものではなく、全ての主要製鉄国が参加しCO<sub>2</sub>排出削減に取り組む衡平かつ合理的な実効性のある枠組みであるという点で最善の方法と考えております。

### 記

世界の鉄鋼業のリーダーは、地球温暖化対策の推進にはグローバルなアプローチが最善の方法だと支持する。

世界共通で首尾一貫した方法論を確立し、世界の主要製鉄所のCO<sub>2</sub>排出量のデータ収集・報告を行う。

これは、国や地域でポスト2012年以降のコミットメントを設定するために必要な出発点である。

現在EUで行われているようなCap and Trade政策は、CO<sub>2</sub>排出量削減に効果的でない。排出面でベストな操業をしている製鉄所の生産を抑制することは、鉄鋼業のように世界で競争している産業にとっての解決策とはならない。鉄鋼業にとっての効果的なアプローチには、全ての主要製鉄国の参加と、生産単位当たりCO<sub>2</sub>排出量の改善に焦点を当てることが求められる。

鉄鋼業界にとっての効果的なアプローチは、世界全ての主要鉄鋼生産国の参加と、生産量当たりの排出量の改善に焦点を当てることである。

- ・短期的には、現在のベストな操業および技術を世界的に適用していくこと。
- ・長期的には、革新的な鉄生産技術開発に研究投資をすること。

以上

本件に関するご連絡/お問合せ先：

(社)日本鉄鋼連盟 技術・環境本部 技術・環境・I礼キ-グループ 鶴沢・内藤  
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10  
TEL 03-3669-4824 FAX03-3669-0228  
E-mail: kankyou1@jisf.or.jp